

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2375000250
事業所名	サポートハウス 東名ながくて

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 散歩の折に公園や喫茶店に立ち寄ったり、公園へはバトミントンのラケットを持って行き子どもたちと遊んでいる。地域の防災訓練に参加しており、備蓄品の保管場所などの確認をした。また、1月に行われるもちつき大会にも参加する予定である。法人で行われるかくし芸大会や運動会に地域の人の参加もある。	評価	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 2ヶ月ごとに年6回行われている。市の長寿課職員や包括支援センター職員、民生委員、利用者などの出席を得て行っている。日常生活写真を出席者に見てもらい、状況を話している。出席者からは地域のことを教えてもらったり、質問も多岐に渡り話し合っている。	評価	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 市の主催する敬老会に、6～7名の利用者が参加している。その際の作品展に出品する「お買物かご」を利用者と一緒に行った。また、市の研修会に参加したり、「徘徊ネットワークシステム」を構築するための勉強会にも出席している。	評価	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 利用者・家族の苦情や要望などは、日頃から聞き取りが出来ており、受け止める仕組みがありその改善に努めている。また、「サポート通信」を毎月写真付きのカラー版で送付し、日頃の様子を伝えている。	評価	○
重点項目⑤	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価	○ ○ ○
総合評価			○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。